

8-5-7 ICT普及専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 専門委員会の開催

開催回数：10回（R7.4月～R8.1月）

(2) 専門委員会の委員構成等

当専門委員会は、全国の協会各支部と連携した講習会の開催を通じて、協会加盟会社のICT技術の推進を図ることを主な目的としている。

委員は、全国の協会加盟会社から24名（オブザーバー2名を含む）で構成され、うち9名は、協会各支部の情報・ICT関連委員会にも参画している。これにより、本部・支部間の円滑な情報連携とフィードバックが可能となり、組織全体の連携強化に寄与している。

(3) 主な活動内容

毎年「GIS講習会（ハンズオン形式）」と「ICTセミナー（座学形式）」を開催している。

a) GIS講習会の開催

今年度は、全国9支部で計15回開催し、206名が受講した（Web参加128名、対面参加78名）。

・ArcGIS（協力：ESRI ジャパン）：13回

・SIS（協力：インフォマティクス）：2回

ArcGISは、GISの基本的な事項を紹介する「初級編A」、GISの活用方法を習得する「初級編B」、より実践的な操作習得を目的とした「実践編」を開催した。また、今年度は対面開催の回数を増やしており、受講者全体を対象としたアンケートでは、「対面で気軽に質問しやすい」などの意見が寄せられ、約9割が満足と回答した。

b) ICTセミナーの開催

「ICTセミナー2025-BIM/CIMの動向と関連情報講習会」の標題の下、全国Web配信の講習会を開催し743名が受講、また、中部支部（対面形式）で21名、関東支部（Web形式）で170名が受講するなど、合計934名の参加があった。

受講者アンケートでは、各講義とも「役に立つ」というポジティブな回答が9割を超え、そ

の中でもBIM/CIM基準類の満足度が最も高かった。また「その他ICT技術2」では試験的にAI音声を導入し、9割超から「聞きやすい」と高評価を得た。

今年度のICTセミナーの主な内容は、以下のとおりである。

① BIM/CIMの最新動向1

- ・電子納品要領・基準、ガイドライン等の改定
- ・BIM/CIM取扱要領、BIM/CIM推進委員会の報告内容
- ・情報共有システムの利活用等に関する委員会内アンケート結果の共有

② BIM/CIMの最新動向2

- ・各団体、分野のBIM/CIM動向
- ・測量・地質情報
標高成果の改訂、地形モデル作成ガイドライン、その他

③ その他ICT技術1

- ・衛星リモートセンシング技術、WebGIS
- ・ローコード・ノーコードツール

④ その他ICT技術2

- ・WebGISとゲームエンジン
- ・生成AI

2. 次年度の活動について

次年度も協会加盟会社のICT技術力向上と活用推進を目的に、以下の講習会の開催を主体とした活動を行う。

(1) GIS講習会：ArcGISの「初級編A」「初級編B」を連日開催とするなど、受講者がより参加しやすい開催形式となるようベンダーと調整する。

(2) ICTセミナー：業界内で注目度が高いBIM/CIMを中心に、建設DXや生成AI、ICT技術の活用等に着目し、最新情報を網羅しつつ実践的な内容を充足させた講習会の開催を計画する。

（ICT普及専門委員会委員長 神原 由紀）